

## ベートーヴェン ピアノとヴァイオリンのためのソナタ全曲演奏会によせて

ベートーヴェン ピアノとヴァイオリンのためのソナタ全曲演奏会は、来たる4月14日（日）に  
いよいよ最終回を迎えます。

これまで第1番から第8番まで、ベートーヴェンの様々な顔と出会いながら皆様と一緒に旅をして  
まいりました。振り返ってみますと、どの曲も他と違って、そしてそれぞれにベートーヴェンの  
刻印がはっきりと押されています。類い稀な優しさから、決然とした眼差し、憂いに満ちた訴え、幸  
せな快活さなどなど、その懐の深さははるかに予想を越えるのですが、彼の真意を探していくことで  
私達も育てられてきました。

第3回では、大きな霊峰にも例えられる第9番、第10番をお聴きいただきたいと思います。この  
2曲は全く違う宇宙に属していて、私達がうまくワープしていけるかどうか、鋭意挑戦中です。悪魔  
的なエネルギーに満ちた第9番（クロイツェル）に対して、天使達が声を揃えて歌っているような  
第10番。この旅の最終場面へ、ぜひ皆様の御臨場を願っております。

石井 志都子 中野 洋子

ヴァイオリン  
石井 志都子



山口県出身。6歳で父、故石井洋之助氏にヴァイオリンの手  
ほどきを受ける。10歳で第6回全日本学生音楽コンクール小  
学校の部全国第1位を受賞。13歳で第24回日本音楽コンク  
ール第2位受賞。中学3年で単身上京。桐朋女子高等学校音楽  
科に入学。故鷺見三郎氏に師事。  
高校1年で海外派遣コンクールで日本代表に選ばれ、フラン  
スのロン＝ティボー国際コンクールに出場、日本人として初  
めて第3位入賞。パガニーニ国際コンクールでも第3位入賞。  
パリ国立音楽院に入学。故ガブリエル・ブイヨン氏に師事。  
1年後、首席で卒業。その後、同音楽院のオーケストラの  
コンサートミストレスを務めるかわら、ヨーロッパ各地で  
オーケストラとの共演やリサイタルを依頼される。  
25歳で帰国。数多くのオーケストラと共演、リサイタルを開  
催。NHKのテレビ番組《バイオリンのおけいこ》に数シ  
リーズ出演。アジア各地でも演奏会を開催。蓼科高原音楽祭で4  
年にわたり講師を務める。  
1974年より桐朋学園に勤め現在に至る。1987年より2013年  
まで洗足学園にも務める。毎日新聞社主催全日本学生音楽  
コンクール諮問委員。1998年、山口県文化功労賞受賞。

ピアノ  
中野 洋子



桐朋学園大学音楽学部卒業。奥村洋子、井口秋子の各氏に師  
事。また齋藤秀雄氏に室内楽の指導を受ける。ベルリン国立  
音楽大学でロタル・プロダック、ゲルハルト・ブッヘルト  
の各氏に師事し1968年最優秀の成績で卒業。ジョイントリ  
サイタル、コンチェルトのソリスト、リサイタル等の活動を行  
う。翌年の帰国後から現在まで28回のピアノリサイタルを継  
続して行うほか、国内外の現代曲の初演、室内楽の演奏など  
に意欲的に活躍。ヴァイオリン恵藤久美子氏と4回のデュオ  
リサイタル。糸井正博、二宮和子、石井志都子、田中あや他  
諸氏との室内楽シリーズは現在も進行中。  
2009年には演奏活動40周年を記念してシューマンのタペ「闇  
を抱く光」を開催。以後、ほぼ毎年のように独自のコンセプ  
トによる演奏会を開催している。  
また、2017年まで長年にわたり桐朋学園大学音楽学部にお  
いて後進の指導にあたってきた他、国内外の作曲家の演奏を収  
録したCD「中野洋子の世界」I～IVをリリース。八千代市  
勝田台において主催する「音楽室コンサート～身近にクラシ  
ック～」シリーズは160回以上に及び、心を通わせる音楽の  
営みの場として、多くの音楽家・聴衆の熱い賛同を得ている。



### 会場のご案内

#### ところ

ルーテル市ヶ谷センター  
〒162-0842  
東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1-1  
電話 03-3260-8621

#### 交通

JR	総武線	地上出口	徒歩7分
都営地下鉄	新宿線	A1 出口	徒歩7分
東京メトロ	有楽町線	5、6番出口	徒歩2分
東京メトロ	南北線	5、6番出口	徒歩2分